



## 信号機の色はみどりなのにどうして青というの

### みどりを青ということが多い

みどりということばは、平安時代以後に使われるようになったことばです。それまでは、ブルー（青）もグリーン（みどり）もすべて青とっていました。その後も、実際はみどり（グリーン）なのに、青といている場合がいろいろあります。例えば、「青々とはえた草」「青菜」「青柳」などです。みどり色を、青と表現することが多いことがわかるでしょう。

### 信号も最初は実際に赤・青・黄だった

信号は、作られはじめたころは、実際の色が赤・青・黄でした。しかしその後、みどり色のほうがはっきり見やすいことがわかって、途中からみどり色になったのです。でも、呼び方は青のほうがいいやすすいたためか、そのまま青といわれつづけているのです。もっとも最近では、信号もほんとうの青色に変わっているものもあるそうです。あなたが見て、感じた色が正しいとっていいでしょう。（監修・保岡 孝之）

